

公民館の課題

【課題1】利用者の固定化…新しい人の利用が少ない・活動に参加する人が同じような顔ぶれ

◆公共施設等における町民アンケート調査（平成29年度）

18歳以上の町民の無作為抽出アンケートでは 71.5%の人が1年間で公民館を一度も利用していない。

◆利用サークルの会員減少

【公民館年度別利用状況】

平成23年度（開館日数290～299日） 総利用団体数 9,434 団体・総利用者数 152,256人
平成30年度（開館日数347日） 総利用団体数 10,938 団体・総利用者数 142,585人

【課題2】利用者の高齢化…50歳代以下（勤労世代・子育て世代）の利用が少ない。

◆公民館建て替えに向けた利用者アンケート調査（平成23年度）

利用年代：19歳以下…0.8%、20歳代…0%、30歳代…2.7%、40歳代…4.7%、
50歳代…12.1%、60歳代…47.9%、70歳以上…29.3%

◆公民館利用者満足度調査（令和元年度調査）

利用年代：19歳以下…0.7%、20歳代…1%、30歳代…4.9%、40歳代…7.8%、
50歳代…5.8%、60歳代…24.3%、70歳以上…55%

【課題3】利用者の男女比率の偏り…男性の利用が少ない

◆公民館建て替えに向けた利用者アンケート調査（平成23年度）

利用者：女性79%、男性16%、無回答5%

◆公民館利用者満足度調査（令和元年度）

利用者：女性78%、男性22%

新規利用者呼び込む

◆生涯学習に関する世論調査（内閣府政府広報室 平成30年度調査）

○この1年間で学習したことがある人の割合

学習したことがある 58.4% 学習したことがない 41.3% わからない 0.2%

○これから学習するとすればどのようなことを学習したいか

学習したい 82.3% 学習したいと思わない 10.8% 特になし 6.1% わからない 1%

【今後学びたい内容】

- ・「趣味的なもの」、「健康・スポーツ」は男女とも上位。
- ・特に「趣味的なもの」は女性の回答が多い。
- ・「職業上必要な知識・技能」、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」は男性に多い
- ・「家庭生活に役立つ技能」は女性において顕著に多い

➡現在、学習していない人が41.3%あるが、今後学習したいという意欲は一般的に高い。

これまで公民館を利用していない人、勤労・子育て世代、男性に向けて、
公民館に足を運ぶきっかけをつくる

公民館を利用するきっかけづくりについての意見（前回会議より）

【印象・外観・雰囲気・認知について】

- 『公民館』のネーミングが古い
 - ・これまで利用していない人や若い人には名称から利用したくなる魅力が感じられるか？
- 施設の老朽化が目立つ
 - ・古い施設や設備のままでは、利用したまらない。場所があれば人が来る・増える訳ではない。
- 子どもも高齢者も集える場所として、足を運びやすい雰囲気づくり
 - ・立ち寄りやすい雰囲気づくり。講座ポスターやサークル紹介などを見ることができるとよい。
- 公民館の役割・活動の認知をひろげる
 - ・役割・活動を知らせるリーフレットの作成（※参考資料参照）
 - ・何かをしたいと思っても、サークルなど集団に所属するのは煩わしいと思う人もいる。ただし、何かを始めるなら早い方が良い。
- 誰でも参加できるイベントと、サークル活動等の成果発表の場の工夫
 - ・公民館まつり・文化祭は期間や開催場所の工夫が必要ではないか？公民館まつりは2日間と短い。文化祭は1ヶ月ほどあるが、会場がほぼ町民センターに集中している。

【公民館講座について】

- 講座名について
 - ・公民館講座は参加者が少ない講座でも実際は良い内容のものが多い。難しそうなテーマでも申込したくなるような講座名の工夫が必要。
- 講座に参加することで、仲間づくりにつながっているか？
 - ・公民館講座の目的には「仲間づくり」としているものが多い。初めて寒川に来た人や、地域のつながりがこれまで希薄な人は、まず公民館講座に参加することで知り合いを増やしたいと思う。
- 利用の少ない層（男性、勤労世代）が参加しやすい設定がされているか
 - ・対象にあわせて関心の高い内容の選定や参加しやすい開催時間帯の工夫

【サークルの育成について】

- 既存サークルを育成する
 - ・日頃よりサークル活動をわかりやすく周知する
 - ・年2回実施のサークル入会体験フェスタを周知することで、初心者が参加しやすくする。
 - ・サークル育成をする仕組みづくりをする。公民館サークルが公民館講座の講師を担当し、受講者をサークル入会に繋げる
 - ・サークル、団体には新しい人が孤立しないように受け入れる心構えが欲しい
- 新しいサークルを育成する
 - ・公民館講座から新しいサークルにつながるように、講座プログラムを工夫する（回数・成果発表）
→近年のサークル化事例…スポーツ吹き矢、ノルディックウォーキング、裂き織り、ギター